

講義名	経済学入門		
科目区分	専門基礎科目		
担当教員	上瀧 真生		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	23056

主題と概要

私たちの衣食住の生活を支えているのは、物やサービスを生産し、流通させ、消費する活動、つまり経済活動である。経済活動は、働き、賃金を得て、消費する家計の活動、物やサービスを生産したり、流通させる企業の活動、家計や企業から税金を徴収し、公共サービスを提供する政府の活動の複雑なからまり合いのなかで進行している。さらに、今日、経済活動は国境を越えて、グローバルに展開している。このような複雑な経済活動について、その方向性やあり方を考えることは、私たちが生きていくうえで必要不可欠なことである。この講義では、経済活動についての基本的な見方・考え方、経済学の基礎の基礎を学ぶ。

到達目標

経済活動についての基本的な見方・考え方を身につけること。
その見方・考え方を踏まえて、現実の経済活動で起きていることについて自分なりの考えをもつこと。

提出課題

毎回復習クイズを課す。また、中間レポート試験を課す。

評価の基準

毎回の講義時間内に行う復習クイズ、中間レポート試験、期末試験の総合評価（単純合計）による。ただし、中間レポート試験を提出しない受講生には期末試験の受験資格を与えない。

復習クイズ	毎回2点 × 15回 = 30点
中間レポート試験	最高30点
期末試験	50点

履修にあたっての注意・助言他

経済的なことになじみがないと感じている受講生も多いかもしれないが、実際には私たちの生活は経済的なことから基礎として成り立っている。そのことを実感できるよう、日頃から新聞、ニュースなどで経済活動にかかわることがらに注意を向けてほしい。

なお、いかのとおり、受講ルールを定める。

- (1) 授業開始後15分を経過したのちは、入退室を認めない。
- (2) 座席については教員の指示に従う。
- (3) 私語は厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。
- (4) 携帯電話などの電源は切る。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

講義中にプリント資料を配付する。

参考文献
 ゲーリー E.クレイトン 『アメリカの高校生が学ぶ経済学』 WAVE出版、2005年
 中谷武・中村保編 『1からの経済学』 碩学舎、2010年

授業計画

01. 経済ってなんだ？
02. 世の中は分業で成り立っている 機会費用と比較優位
03. 買い手の行動、売り手の行動 需要と供給
04. 買い手の行動、売り手の行動 需要と供給
05. 商品価格と需給のバランス 価格メカニズム
06. 商品価格と需給のバランス 価格メカニズム
07. 市場にまかせればうまくいく 市場の効率性
08. 市場にまかせてもうまくいかない 市場の失敗、市場の限界
09. 市場にまかせてもうまくいかない 市場の失敗、市場の限界
10. 仕事をして賃金をもらう 労働市場の機能と限界
11. 一国の経済を考える GDPって何？
12. 一国の経済を考える GDPって何？
13. お金は経済活動の潤滑油 貨幣と金融
14. 国や自治体がすること 政府の役割
15. 世界とつながる 外国貿易と為替レート

予習・復習

毎回の復習 30時間
 中間レポート試験の準備 15時間
 期末試験の準備 15時間

備考